

萩市農會要覽

山口縣

緒 言

農業が他の商工業に比し遅々として其の進歩を見ざるは業態そのものが、保守的なると共に、一面我地勢上集約を基礎とする農法なるにより、機械動力の恩恵に浴し得ること少きが故なり。

歸納的に農村疲弊の聲なるもの今に於て高し、然れども之が救濟は寛に至難こせらるゝの秋に當り、帝國農會並に其の系統農會の活動並貢献せる跡、活目すべきものあり。是等の細胞組織の一なる我萩市農會が、其の使命を十分果し得ざる憾みあることの如き、省みて忸怩たるものあり。

然りと雖も一面農會の活動は當業者の自覺と相俟つて其の機能を發揮し得べきなり、農會が如何なるものなるかを汎く識らしむることの徒事ならざるを想ひ杜撰の誹を省みず之を編せる所以なり。

昭和九年四月

萩市農會

34568

萩市立図書館

079

11005

新嘉坡文獻館

30518

萩市農會要覽

目 次

第一章	萩市農林產業ノ概要	(一)
第二章	萩市農會ノ創立	(四)
	萩市農會ノ沿革	(七)
	各 年 度 豫 算	(四)
(一)	會 長 副 會 長	(八)
(二)	事 務 所 在 地	(七)
(三)	事 業 經 過 大 要	(八)
(四)		(九)
第三章		
第一、萩市農會事業	(一〇)	
第二、萩市農會經營青物市場ノ概要	(一一)	
第四章		
會則及諸規程	(九)	
附錄萩市農會並青物市場役職員	(九)	

第一回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二回	会員成績成績
第三回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十一回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十二回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十三回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十四回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第二十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十一回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十二回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十三回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十四回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第三十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第四十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第五十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第六十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第七十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第八十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九十回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九十五回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九十六回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九十七回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九十八回	新潟市農業会員青森市農業会員
第九十九回	新潟市農業会員青森市農業会員
第一百回	新潟市農業会員青森市農業会員

第一章

萩市農林産業ノ概要

萩市ハ北方日本海ニ面シ他ノ三面ハ鬱蒼タル山岳ヲ以テ圍繞セラレ、阿武川流域ノ平野ハ所謂沖積土ニシテ農耕栽培ニ適セリ。氣候寒暖ノ中和ヲ保持シ真ニ天恵ニ富メル地ナリ。

萩市ノ面積ハ五、一四四方里ニシテ、山林面積一三〇〇町歩、耕作面積一二三〇町歩、内田地六八一町歩、畑地五四九町歩ヲ有ス、是ヨリ生スル農產物及林產物ノ產額一、三四二、五八七圓ニシテ昭和四年調現況左ノ如シ

農 主要 麥	區別 米	種 別	係 數	收 穫	高 價	額
			六、四〇三反	一四、五六石	三八、五八円	
			二、四七	四、六六石	四七、四七円	

產林				物						
薪炭材	竹材	用材	種別	他				其		鷄
				合計	養蜂	牛乳	家畜	家禽	其ノ他	
一、五、四〇〇	三、七〇〇	三、五〇〇石	三、五〇〇石	三、七〇〇	一	四、五〇〇	九七	一、四、二七〇	一	三、六五
七、七〇〇	七、七〇〇	四、五、八〇〇	四、五、八〇〇	四、五〇〇	一	三、九	八一	一	一	一
木白炭	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一、七〇〇	一	一	一	一	一	一
					一、二六、二五七	四七、七九	四、五〇〇	一、〇、六四〇	一、二六、二五七	三、六五
										一

…(3)…

產				副						產物	
計	苗	蜂	產	工藝			果		蔬		其 他
				木	蜜	卵	製茶	實	菜		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
				一、〇五	一、〇五	一、〇五	一	七八〇斤	一、六八	三、九六	一、〇〇
				九〇六、三〇八個	九〇六、三〇八個	九〇六、三〇八個	六、二八五	六、二八五	三、五五三	三、一七三、六五八	一
				二、八〇〇	二、八〇〇	二、八〇〇	四、二〇〇	四、二〇〇	四、二〇〇	二、一五〇	一〇、〇四五
				五六、〇五〇本	五六、〇五〇本	五六、〇五〇本	一、五五七	一、五五七	一、五五七	四二、六六七	一
				六九二、三六六	六九二、三六六	六九二、三六六	三、五五三	三、五五三	三、五五三	一六八、一五一	四六、一三三
											四〇、〇八八

…(2)…

物	
合計	樹皮
	毫石
	二、四〇
	一、五八
	雜產物
	一
	六、九三
	一六、五〇

第二章

第一、萩市農會ノ創立

衆議ニ諮ヒ大正十二年四月一日舊萩町、椿東村、椿村、山田村ノ一町三村ヲ區域トスル大萩町ノ合併成リ、茲ニ現在ノ萩市ヲ建設スルニ至レリ。

農會ノ行政區域トスル自治体ニシテ既ニ合併セルヲ以テ一町三箇村ニ分屬セル各町村農會モ亦之ガ合併ノ機運頓ニ熟シ、同時ニ關係町村農會ニ於テ合併委員（時ノ農會長平野斌、大田民藏、鈴木美德、北野右一）ヲ設ケ調査審議ヲ遂グル所アリ、大正十二年十月三十日萩町公會堂ニ於テ合併ノ創立總會ヲ

開催シ會則ノ制定ヲ了シ、會長ニ平野斌ヲ、副會長ニ福田茂穂ヲ選舉セリ。
大正十二年十一月一日前記合併委員ノ名義ヲ以テ町村農會合併、萩町農會創立認可申請ヲ爲シタルニ對シ、左ノ通リ認可指令アリ。

指令勸第二七九二號

山田村農會	椿東村農會	椿村農會
阿武郡山田村農會	阿武郡椿東村農會	阿武郡椿村農會
阿武郡山田村農會	阿武郡椿東村農會	阿武郡椿村農會

大正十二年十一月一日申請萩町農會椿東村農會椿村農會山田村農會ヲ合併シ新タニ萩町ノ區域ヲ以テ萩町農會設立之件認可ス

大正十二年十一月十三日

山口縣阿武郡長林勇輔印

大正十二年十二月二十日會則第二十九條ニ依リ萩町明倫小學校ニ於テ萩町農會總代ノ選舉ヲ行フ。被選舉人員定數三十名ニシテ萩區七名、椿東區九名山田區七名、椿區七名ヲ選出セリ。

大正十二年十一月十三日附ヲ以テ認可指令ヲ受ケタル本會ハ大正十二年度ニ限リ農會法施行細則第二十六條ニ依リ經費ノ賦課ヲ爲サズシテ左ノ寄附金並ニ萩町補助金ヲ以テ經費ヲ充當スルコト、セリ。

寄附金 元萩町農會ヨリ金四十九圓

元椿東村農會ヨリ金三十六圓

元山田村農會ヨリ金二十四圓

元椿村農會ヨリ金二十一圓

大補助金 萩町ヨリ金五百圓

計金六百四拾圓

第二、萩市農會ノ沿革

昭和七年七月一日萩町ニ萩市制ヲ布キ萩町農會ハ茲ニ萩市農會トナル
大正十二年十一月十二日萩町農會ノ創立ヲ見ルニ至リ越ヘテ大正十三年十一月十二日事業ノ一端トシテ萩町農會經營青物市場(特別會計)ヲ創立セリ。

(一) 各年度ノ豫算

年 度	農會本會計豫算	特別會計青物市場豫算	合 計
大正十二年	六八〇圓	一	六八〇圓
大正十三年	三、〇八一圓	一、三六〇圓	四、四四一圓
大正十四年	三、九二二圓	二、五三〇圓	六、四五二圓
大正十五年	一〇、八〇七圓	三、二六五圓	一四、〇七二圓
昭和二年	八、六〇七圓	三、二九六圓	一一、九〇三圓
昭和三年	七、四九五圓	三、一五七圓	一〇、六五二圓

昭和四年	六、二九〇圓	三、五七三圓	九、八六三圓
昭和五年	五、九八九圓	四、八七九圓	一〇、八六八圓

(二) 會長副會長異動

會 長	副 會 長
異動年月日 大正十二年十一月就職 昭和四年一月死亡	氏 平野斌
昭和四年一月就職	林勇輔
昭和六年十月辭職	林勇輔
大正十二年十一月就職 大正十五年二月辭職	福田茂穂
大正十五年七月就職 昭和二年九月辭職	松尾利右衛門
昭和四年一月就職 昭和六年十月再選	福田一良

(三) 事務所々在地

大正十二年十一月十二日萩町農會認可ト同時ニ萩町役場内ニ其ノ事務所ヲ置ク。

大正十五年四月一日萩町東田町十番地農會經營青物市場内ニ事務所ヲ移轉シ現在ニ至ル。

(四) 事業經過大要

普通農事即チ米麥作蔬菜果樹ノ改善ヲ圖ルベク大正十二年十一月十二日森田萩町技手ニ農會技手ヲ嘱託シ事務擔當トシテ揚井萩町書記ニ農會書記ヲ嘱託ス

時運ノ進展ニ鑑ミ農業經營上販賣政策ノ一端トシテ大正十三年十一月十三日農會經營ノ青物市場ヲ萩町東田町十番地ニ開設

大正十五年四月一日事務所移轉ト共ニ溝部技手ヲ専任者トシ森田嘱託技手ト共ニ農業技術方面ヲ擔當セシムルコト、セリ

養蠶獎勵ノ目的ヲ以テ大正十五年七月西元養蠶専任技手ヲ任用ス

柑橘栽培改善ノ目的ヲ以テ大正十五年度ヨリ苗木商ニ委託シテ苗木養成ノコトニ當リ之ヲ栽培者ニ配布ス

從來ノ苗木ハ專フ苗木商ニ之ヲ委嘱シ尙遺憾ノ点アルヲ以テ穗木選定仕立方ノ改善ヲ期スル爲メ昭和三年八月萩町ノ委託契約ヲ容レ昭和六年ヨリ毎年度五年生五千本ヲ仕立テ實費ヲ以テ栽培者ニ配布スルコト、セリ

昭和四年三月溝部農業技手及大谷養蠶技手萩町技手ニ轉任シ創立以來我農會ノ囑託トナレル森田技手ヲ新タニ専任技手ト爲セリ

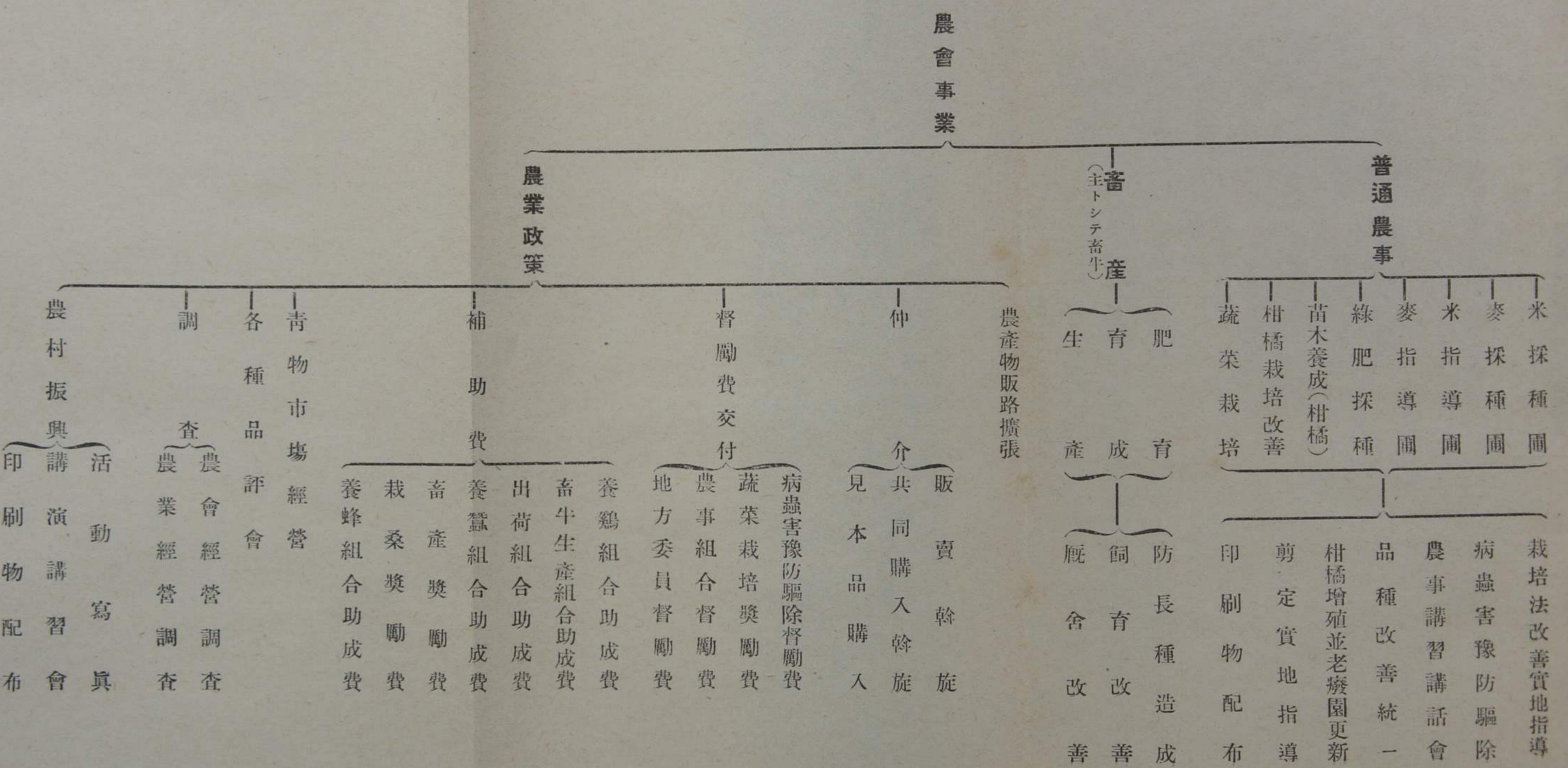
昭和四年十二月二十九日ヨリ畜産ニ關スル一切ノ事務ヲ萩町ヨリ引繼グ

柑橘栽培改善ノ必要ヲ認メ昭和五年四月有吉技手ヲシテ之ヲ専任セシム

第三章

第一、萩市農會事業

農會ノ最モ主眼トスル事業ハ文化ノ進展時代ノ趨勢及其ノ變遷ニ伴ヒ適切ナル施設ヲ爲シツ、アリ、固ヨリ其大綱ニ於テハ變異ナシト雖モ局部的ノ施設ニ就テハ常ニ擇擇宜シキヲ得ベク苦心シツ、アリ、現在ニ於ケル事業ノ大要ヲ示セバ次ノ如シ



第一、農會經營青物市場概要

一、名 称

萩市農會青物市場 略稱は中央市場

二、所 在 地

山口縣萩市大字東田町第三番地

三、市 場 種 類

卸賣市場

四、經 營 者

萩市農會

五、管 理 者

萩市農會長

六、建物構造及坪數

木造亞鉛板葺ニシテ場内平場ヲコンクリート叩キト爲シ場内ハ東面及南面ヲ開放シ北側及西側ニ賣店(間口一間半奥行一間半)ヲ設ケ西北隅ヲ事務所(階下九坪階上八坪)トス其ノ總坪數壹百坪ナリ

七、取扱品目

蔬菜果物及其ノ加工品其ノ他農林產物一般

八、經營ノ方法

(一) 組織

1. 萩市農會特別會計トシテ經營ス

2. 經營後五ヶ年間ハ欠損補填トシテ毎年度萩市農會ヨリ三百五拾圓乃至八百圓其ノ總計金參千六百拾八圓餘ヲ支出シタルモ爾來生產者ノ出荷激増シ昭和四年度ニ於テ初メテ收支相償フノ好況ニ達セリ

3. 事務組織

農會長之ヲ統轄ス

農會長 副農會長

書記——庶務

書記——會計
書記——耀子
書記——事務補助

雇 取扱品配達

4. 農會本會計豫算決算總會ノ際、同時ニ萩市農會特別會計青物市場經費

豫算決算ヲモ提議シ農會總代會ノ議決ヲ經ルコト、セリ

5. 市場經費ノ財源ハ一、手數料 二、補助費 三、繰越金ニ依ル

6. 運轉資金

イ、農會總代會ノ議決ニ依リ特定ノ銀行ヨリ年度内一時借入金ヲ爲ス

(例之昭和四年度ニ於テハ壹千五百圓ヲ限度トス)

ロ、指定仲買人組合ヲ組織シ各員ヨリ金拾圓ノ保證金ヲ徵收シテ之を保管ノ責ニ任セシメ一面青物市場ニ於テハ年六分ノ利子ヲ附シ之

ヲ運轉資金トシテ流通セリ

八、手數料

ニ、農會ノ一般會計現金ノ内ヨリ時宜ニヨリ一時融通ヲ爲スコトアリ
本、繰越金 青物市場ノ經濟ヲ助長スル爲メ同會計ニ屬スル手數料及
繰越金ヲ融通スルヲ例トス

7. 市場建物ハ萩市大字東田町出羽百合助外二名ヨリ地所ト共ニ之ヲ提供
セルモノニシテ一ヶ年間使用料金六拾圓ヲ支拂フノ外農會事務所費ト
シテ同上金貳百四拾圓ヲ支拂フコト、セリ

8. 市場開閉日時

年間六回即六日間ノ休業ヲ除キ自四月午前八時ヨリ正午マデ
至十月午前八時ヨリ正午マデ

自十一月三月午前八時半ヨリ正午マデ毎日開設

9. 取引方法

出荷者ニ對シテハ出荷ノ都度現金ヲ支拂フ 仲買人ニ對シテハ毎月十
日二十日月末ノ三日ヲ勘定日ト爲シ完納者ニハ獎勵金トシテ二歩ノ歩
戻ヲ爲ス

10 手數料

出荷者ヨリハ出荷賣上高ノ百分ノ七ヲ徵收ス 但シ萩市以外ヨリ委託
ヲ受クル場合ハ之ヲ百分ノ八トス

11 仲買人保證金

仲買人ハ保證人二名及保證金拾圓 加入金拾圓(加入金ハ仲買人組合ニ
納ム)ヲ要シ加入脱退共自由ナリ

12 出荷者

出荷者ハ出荷數量其ノ他ニ於テ何等ノ制限ナシ

13 特ニ遠隔地ヨリノ委託販賣ニ應ズルコトアリ

第四章

第一 萩市農會々則

- 第一條 本會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
第二條 本會ハ萩市農會ト稱ス
第三條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ
一、農業ノ指導獎勵ニ關スル施設
二、農業ニ從事スル者ノ福利增進ニ關スル施設
三、農業ニ關スル研究及調査
四、農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
五、其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業
- 第四條 本會ノ地區ハ山口縣阿武郡萩市ノ區域ニ依ル
第五條 本會ノ事務所ハ山口縣阿武郡萩市大字東田町第拾參番地ニ置ク

第十三	萩市農會職員退職給與金支給規程	(七二)
第十四	ク 職員以下賄料支給規程	(七三)
第十五	ク 共同購入共同販賣規程	(七四)
第十六	ク 基本財產管理ニ關スル件	(七五)
第十七	農會金庫事務取扱銀行ノ件	(七六)
第十八	萩市農會青物市場積立金規程	(七七)

第六條 本會ノ公告ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

萩市農會掲示場

第七條 本會事業年度ハ四月壹日ヨリ翌年參月參拾壹日迄トス

第八條 本會ハ會員名簿ヲ作製シ之ヲ事務所ニ備フ

會員名簿ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ會員ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ツベシ

本會ノ會員タルノ資格ヲ取得シ又ハ喪失シタル時モ亦同ジ

會員名簿ノ訂正ヲ要スル時ハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ

關係者ハ本會ノ事務所ニ於テ執務時間内何時ニテモ會員名簿ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

但シ本會支障アルトキハ之ヲ拒絶スルコトアルベシ

第九條 本會ノ會員ハ本會ノ地區内ニ居住セザル場合ニ於テハ代理人ヲ設ケタルコトヲ得

代理人ヲ設ケタル時ハ其ノ氏名及住所ヲ届出ヅベシ

代理人ハ本會ノ地區内ニ居住スル會員タルコトヲ要ス

本會ハ農業ニ關スル一切ノ事項ニ付キ代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通知ニ代フ
第十條 本會ニ顧問ヲ置クコトアルベシ

顧問ハ農業ニ功勞アル者又ハ農業ニ關シ學識經驗アルモノヨリ總代會ニ於テ之ヲ推薦ス

顧問ハ總代會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得但シ決議權ヲ有セズ

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　臺名　副會長　臺名　評議員　六名

第十二條 役員ハ總代會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ選任ス　但シ會長及副會長ハ會員以外ノ者ヨリ之ヲ選

任スルコトヲ妨げズ

役員ノ選任ハ投票ニ依リ之ヲ行フ　但シ總代會ノ決議ヲ經テ指名推薦ヲ以テ投票ニ代フル

コトヲ得

投票ノ最多數ヲ得タルモノヲ以テ當選者トス　得票數相同ジキ時ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スル事ヲ得ズ

第十四條 總代會ハ正當ノ事由アルトキハ總代會ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得役員ヲ解任

スルコトヲ得

役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補缺ノ役員ヲ選任スペシ

第十五條 役員中缺員ヲ生ジタル時ハ次ノ總代會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總代會ニ於テ補缺ノ役員ヲ選任スベシ

第十六條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ヶ年トス 但シ再選ヲ妨ゲズ

補欠ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ残任期間トス

第十七條 役員ハ其ノ任期満了シタル時ト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其職務ヲ行フモノトス

第十八條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

會長ハ總代會ノ決議ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總代會ヲ招集スルノ暇ナシト認ム

ルモノヲ專決處分スル事ヲ得

前項ノ場合ニ於テ會長ハ次ノ總代會ニ於テ其承認ヲ求ムル事ヲ要ス

第十九條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第二十條 評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ並ニ會務執行及財產ノ狀況ヲ監査ス

會長ハ左ニ掲ル事項ニ付キテハ評議員ニ諮問スルヲ要ス

一、總代會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項

二、臨時總代會ノ招集ニ關スル事項

三、寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四、農會法第三十條第五項リ依ル異議ノ申立ノ決定ニ關スル事項

第二十一條 役員ハ名譽職トス 但シ總代會ノ決議ヲ經テ報酬ヲ給スルコトヲ得

第二十二條 本會ハ總代會ニ於テ役員中ヨリ阿武郡農會ノ議員及豫備議員各壹名ヲ選任ス

第二十三條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

幹事 壱名 技手 參名 書記 壱名

地方委員 若干名

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケテ事務ヲ掌ル

技手ハ會長ノ命ヲ承ケテ技術ニ從事ス

書記ハ會長ノ命ヲ承ケテ事務ニ從事ス

第二十四條 職員ハ會長之ヲ任免ス

第二十五條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給又ハ手當ヲ支給ス

第二十六條 職員退職シタルトキハ退職給與金ヲ支給ス 退職給與金ニ關スル細則ハ總代會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二十七條 本會ノ事業ニ關シ特別審議ヲ要スル場合ハ委員會ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第二十八條 本會ニ總代會ヲ置キ總會ニ代フ 總代會ハ會長副會長及總代ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十九條 總代ノ定數ハ參拾貳人トシ左ノ選舉區ニ選舉會場ヲ設ケ其ノ區内會員之ヲ互選ス

萩區九人 椿東區九人 椿區七人 山田區七人

第三十條 總代中缺員ヲ生ジ其ノ缺員總代定數ノ參分一ニ至リタル時又ハ本會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補缺ノ總代ヲ選舉スベシ

第三十一條 會長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スベシ

會長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ十四日間毎日午前十時ヨリ午後時迄本會ノ事務所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ從覽ニ供スベシ

從覽日時ハ之ヲ公告ス

選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ從覽期間經過十日迄ニ之ヲ會長ニ申立ツル事ヲ得此場合ニ於テ會長ハ直ニ其ノ決定ヲ爲スベシ

第三十二條 會長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場投票ノ日時及選舉スペキ總代數ヲ告示ス

第三十三條 總代ノ選舉ハ會長之ヲ統轄シ各區ノ選舉會場ノ選舉管理者ヲ任命ス

會長ハ會員中ヨリ各會場ニ二人ノ選舉立會人ヲ設クベシ

第三十四條 選舉人名簿ニ登錄セラタル者ニ非サレバ選舉ヲ行フコトヲ得ズ

第三十五條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ壹人壹票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉場ニ至リ技票ヲナスベシニイマ

投票時間内ニ選舉場ニ入りタル選舉人ハ其時間ヲ過グルモ投票ヲナスコトヲ得
選舉人ハ選舉場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人壹名ノ氏名ヲ記載シテ投票スベシ

投票用紙ハ會長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フベシ

第三十六條

未成年者及禁治產者ニ在リテハ法定代理人ニ於テ選舉ヲ行フベシ

第九條

未成人者及禁治產者ニ在リテハ法定代理人ニ於テ選舉ヲ行フシムルコト

第三十三條

前項ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ選舉管理者ニ提示スベシ

第三十七條

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一、正規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二、一投票中ニ貳人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三、被選舉人ノ何人タルカラ確認シ難キモノ

四、被選舉權ナキモノ、氏名ヲ記載シタルモノ

五、被選舉人ノ氏名ノ外他ヲ記載シタルモノ、但爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタ

ルモノハ此ノ限リニアラズ

第三十八條

投票ノ拒否及効力ハ選舉立會人之ヲ決スベシ

可否同數ナルトキハ選舉管理者之ヲ決定スベシ

第三十九條

總代ノ選舉ハ有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

但シ選舉スペキ總代數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七

分一以上ノ得票アルヲ要スニ

前項規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同ジキ時ハ年長者ヲ取リ年齡相同ジキ

トキハ選舉管理者抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第四十條

選舉管理者ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顎末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後

之ヲ朗讀シ選舉立會人貳人以上ト共ニ之ニ署名スベシ

選舉錄ハ投票選舉人名簿其他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ効力確定スルニ至ル迄之ヲ

保存スベシ

第四十一條

當選者定マリタル時ハ會長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ通知スベシ

當選者當選ヲ辭セントスル時ハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ會長ニ届出
ヅベシ

第四十二條 總代ノ當選ヲ辭シタルモノアル時ハ會長ハ直ニ之ヲ補フベク當選者ヲ定ムベシ此ノ場合
ニ於テハ第三十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條 第四十一條二項ノ期間ヲ經過シタルトキハ當選者ノ住所氏名ヲ公告ス

第四十四條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其
ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第四十五條 選舉人選舉又ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關
シテハ第四十三條ノ公告ノ日ヨリ七日以内ニ會長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ

會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ

第四十六條 當選無効ト確定シタルトキハ會長ハ直ニ第三十九條ノ例ニヨリ更ニ當選者ヲ定ムベシ選
舉無効ノ確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フベシ

第四十七條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セズ

第四十八條 左ニ掲タル事項ハ總代會ノ議決ヲ得ルモノトス

第四十九條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十一條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十二條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十三條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十四條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十五條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十六條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十七條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十八條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第五十九條 第三十九條第一項但書ノ規定ヲ適用ス

第四十九條 總代會ハ通常總代會臨時總代會ノ二種トス

通常總代會ハ毎年一回貳月ニ之ヲ開ク

臨時總代會ハ會長必要ト認ムルトキ又ハ農會法第二十一條第二項ノ規定ニ依ル請求アリ
タルトキ之ヲ開ク

第五十條 總代會ヲ招集セムトスルトキハ會長ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項
日時及場所ヲ總代會ヲ組織スル者ニ通知スベシ 但シ通知スルコト能ハザルモノニ對シ
テハ公告ヲ以テ之ニ代フ

第五十一條 總代會ノ議長ハ會長事「故アル時ハ副會長之ニ當ル」會長及副會長共ニ事故アルトキ又
ハ農會法第二十一條第三項若ハ第四項ノ場合ニ於テハ出席者之ヲ互選ス

第五十二條 總代會ハ之ヲ組織スル者ノ半數以上出席スルニアラザレバ開會スルコトヲ得ズ 但全事
件ニ付招集再會ニ及ブトキハ此ノ限ニアラズ

第五十三條 總代會ノ議事ハ法令及本則ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決
ス

第五十四條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ本則ニ規定アルモノヲ除ク外總代會ニ於テ之ヲ定ム

第五十五條 總代會ニ於テハ豫メ通知アリタル事項ヲ除ク外緊急ノ要アルモノ及輕微ナルモノニ付議
決ヲナスコトヲ得

第五十六條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トス
第五十七條 總代會ニ於テ之ヲ定ム
第五十八條 本會ハ總代會ノ決議ヲ經物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲナシムル事アルベシ
第五十九條 會員ニシテ其ノ資格ヲ喪失シ又ハ其ノ資格ニ變更ヲ生スルコトアルモ既ニ徵收シタル經
費ハ之ヲ還付セサルモノトス

第六十條 本會ハ左ニ掲ゲル事項ニ付使用料又ハ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得
一、農產物ノ販賣並ニ農業用品ノ購買等ノ斡旋
二、農具ノ使用
三、設計評價鑑定

第六十條 使用手數料及實費辨償ニ關スル細則ハ總代會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

第六十一條 經費使用料手數料又ハ實費辨償金ヲ滯納スルモノアルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第六十二條 前項ノ督促ヲ受ケ指定期日迄ニ完納セザルトキハ滯納金ノ十分ノ二以内ノ過怠金ヲ課ス
經費又ハ過怠金ヲ完納セザルモノアルトキハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ農會法第三十條
第三項ノ手續ヲナスクトヲ得

第六十三條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クル事ヲ得

第六十四條 本會ハ基本財產ヲ設ク
特定ノ目的ナキ寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財產ニ編入ス

第六十五條 基本財產ハ總代會ニ於テ定メタル方法ニ依リ之ヲ造成管理及處分ス

第六十六條 會長ハ主任ヲ定メテ會務ヲ處理セシム

第六十七條 本會ニハ左ノ帳簿ヲ備フ
一、會員名簿
二、財產臺帳
三、出納簿
四、豫算差引簿
五、經費徵收原簿
六、役職員總代名簿
七、記錄臺帳

第六十八條 剩餘金ハ山口縣農會農村振興基金完納ニ至ル迄其ノ三分ノ一ヲ之ニ充當シ殘り三分ノ二
ヲ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス

第六十九條 庚務及會計ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム

第七十條 本會ノ出納閉鎖ハ五月參拾壹日トス

第七十一條 會則ノ變更ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スルモノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以
テ之ヲ議決ス

第七十二條 解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルニアラザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

本會ノ解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

附 則

大正十二年度ニ於テ選任シタル役員及總代ノ任期ハ大正十五年度迄トス
本則施行初年ニ限リ第三十一條ニ六十日トアルヲ參拾日トシ四拾日トアルヲ貳拾日ニ十四日
トアルヲ七日ニ拾日トアルヲ五日トス

第二 萩市農會旅費支給規程

第一條 萩町農會職員公務ニ依リ旅行スルトキハ本規程ニ依リ旅費ヲ支給ス

第二條 旅費ハ汽車貨馬車貨日當宿料ノ五種トシ別表ニ從ヒ順路ニ依リ之ヲ支給ス 但シ公務ノ都
合上順路ニ依リ難キ場合ニハ其ノ現ニ經過シタル通路ニ依ル

第三條 汽車貨ハ汽車旅行ノ哩數船貨ハ水路旅行ノ哩數車馬貨ハ陸路ノ旅行里數宿泊料ハ夜數日當
八日數ニ應ジ之ヲ支給ス

水路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セズ

第四條 旅費ノ支給ニ關シテハ旅行日數ハ出張地ニ於ケル滯在日數及途中公務ノ爲メ要シタル日數
ヲ除クノ外汽車旅行ハ二百哩水路旅行ハ百哩陸路旅行ハ十二里ヲ以テ一日ノ行程トス

但シ一日行程未滿ノ端數ハ之ヲ一日トス

第五條 鐵道四十八哩未滿水路六哩未滿ノ旅行ニハ職務ノ都合ニ依リ宿泊シタル場合ヲ除クノ外其
ノ支給スペキ日當ハ定額ノ半額トス

第六條 一旅行ガ陸路鐵道又ハ水路ニ亘ルトキハ鐵道ハ八哩水路ハ五哩ヲ以テ陸路一里ト看做シ前
項ノ規定ヲ準用ス

第七條 特別ノ事情ニ依リ定額ノ汽車貨船貨又ハ車馬貨ヲ以テ支辨シ難キ場合ニ於テハ特ニ實費ヲ
支給スルコトヲ得

第八條 旅費ノ計算上一哩一哩又ハ一里ニ満タザル端數ヲ生ズルトキハ切捨トス

第九條 新ニ任用セラレ若クハ任用召喚ノ爲メ旅行ヲ要スルトキハ新任職相當ノ旅費ヲ支給ス

但シ會長ハ本人ト協議シテ定額以内ニ於テ約束旅費ヲ支給スルコトヲ得

第十條 旅行中退職失職又ハ廢職トナリタル者ニハ舊任地ニ至ル迄前職相當ノ旅費ヲ支給ス

但シ犯罪懲戒等ニ原因スルモノハ此ノ限りニアラズ

旅行中死亡シタル場合ニ於テハ前項ノ規程ニ準ジ旅費ニ相當スル金額ヲ遺族（官吏遺族扶

助法ニ於テ遺族ト稱スルモノ）ニ支給ス

第十一條 事務引繼殘務整理ノタメ退職者ニ旅行ヲ命ズルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給ス

附 則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

記

等級	職名	鐵道貨	船 貨	車馬賃	一日二付當	宿泊料	一夜二付
一 等	副會長	二等運賃	二等運賃	五拾錢	貳 圓	郡 内	參圓五拾錢
二 等	書記手	二等運賃	二等運賃	壹圓五拾錢	郡 外	參圓五拾錢	四圓五拾錢

三 等	書記補	ク	ク	四拾錢	壹圓貳拾錢	郡 内	參圓五拾錢
					郡 外	參 圓	四圓五拾錢

昭和二年二月二十八日議決

旅費支給規程中改正ノ件

昭和二年二月二十八日設定旅費支給規程中左ノ通り改正スルモノトス

左 記

本會役職員ニシテ町外ニ出張ナシタルトキハ萩町有給吏員旅費規程ヲ適用シ左表ニ依リ町内木間ニ出張シタルトキハ會長及副會長ハ日額旅費金參圓ヲ技手書記及其ノ他ノ職員ハ日額旅費金貳圓ヲ支給スルモノトス

但シ萩小郡間萩山口間ノ往復ニアリテハ自動車ニ依ル實費ヲ給ス 參照 舊規程

本役職員ニシテ町外ニ出張シタルトキハ萩町有給吏員旅費規程ヲ適用シ左表ニ依リ支給スルモノトス

但シ萩小郡間萩山口間ノ往復ニアリテハ自動車ニ依ル實費ヲ給ス 表省略ス

第三 萩市農會青物市場業務規程

- 第一條 本市場ハ萩市農會青物市場ト稱シ萩市農會長之ヲ管理ス
- 第二條 本市場ハ農產物生産需要兩者ノ副利ヲ増進スル爲メ農產物ノ販賣ヲ取扱フヲ以テ目的トス
- 第三條 本市場ノ位置ハ萩町大字東田町萩(は)中央市場内トス
- 第四場 本市場ニ左ノ職員ヲ置ク
 - 主事 壱名 事務員 若干名 雇若干名
 - 第五條 主事ハ農會長ノ指揮ヲ受ケ市場事務ヲ處理ス
 - 第六條 農會長ニ於テ必要ト認メタル時ハ小賣部ヲ置キ又ハ若干商店ヲ指定シテ特約店ヲ置ク事アルベシ
 - 第七條 特約店ノ引受者ハ常ニ本市場ニ出入シテ本市場ノ指定ニ依リ委託品ノ販賣ヲ幹旋スル責務アルモノトス
 - 八條 特約店引受者ノ行爲前條ノ趣旨ニ背反セリト認メタル時ハ之ヲ解除スルコトアルベシ
- 第九條 本市場ハ毎日午前六時開始ス 但時期ニ依リ臨時休業シ又ハ開場日ヲ限定シ或ハ時刻ヲ變更スルコトアルベシ
- 前項但シ書ノ場合ニ於テハ豫メ本市場内ニ之ヲ公告ス
- 第十條 生產物ハ總テ競賣ニ付スルモノトシ相互示談ヲ許サズ 但本市場ニ於テ必要ト認メタル時ハ此限ニアラズ
- 第十一條 本市場ニ於テ價格ノ關係其他必要ト認メタル場合競賣ヲ中止シ市場出品物ノ與托ヲ受ケ小賣ヲ爲シ又ハ特約店ニ委托シテ販賣スル等隨機ノ處置ヲ採ルコトアルベシ
- 第十二條 出品物ハ受付順ニテ壹人毎ニ競賣ニ付スルヲ例トス 但シ必要ト認ムル場合ハ壹人ノ出物ヲ分割販賣スル事アルベシ
- 第十三條 出荷者ハ自己ノ出品物ノ競賣ヲ了スル時ハ本市場ヨリ其代價ヲ受取ルモノトス 但シ委托品ハ本市場ニ於テ精算ノ上便宜ノ方法ニ依リ送金ス
- 第十四條 本市場ハ出荷物又ハ買取品ヲ保管スル責務ヲ負ヘザルモノトス
- 第十五條 本市場ハ實費トシテ各賣主ヨリ左ノ割合ニ依リ手數料ヲ徵收ス

第十九條 米 壱俵 五錢

第十九條 蔬菜、果實、木炭、豆類、手工、織繡工品、鶴卵其他農產物ハ賣上高ノ百分ノ七

第十九條 但シ裁市内ヲ除ク阿武郡内ノ出荷品ニ對シテハ賣上高ノ百分ノ八其他ノ出荷品ニ對シテ

第十九條 品ハ賣上高ノ百分ノ八以上百分ノ十以内ヲ以テ會長ニ於テ適宜之ヲ定ム

第十九條 賣上高ノ多キ者ハ前項手數料ノ内獎勵金トシテ賣上高ノ百分ノ貳以内ヲ會長ノ定ムル内規

第十九條 ユ依サ割戻シヲナスコトアルベシ

第十九條 市場ノ取引ハ總テ現金トス、但シ本市場ノ承認ヲ得タル者ハ翌日迄之ヲ延納ヲナスコトヲ

第十九條 得

第十九條 本市場競賣品購入者ハ農會長ノ指定シタル仲買人及ビ其代理人トス、但指定商人ニシテ代

第十九條 代理人ヲ置キタル時ハ豫メ農會長ノ承認ヲ受ケベシ

第十九條 指定仲買人ハ市場ニ對スル一切ノ義務ヲ負擔スル爲メ農會長ノ承認ヲ經タル貳名以上ノ連

第十九條 帯保證人ヲ設ケ所定ノ様式ニ依ル契約證書ヲ提出スベシ、但有價證券又ハ不動產ヲ擔保ニ

第十九條 提供スル場合ハ保證人ヲ要セズ

第十九條 本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 出荷者及仲買人ニ於テ仕切票ニ錯誤アルコトヲ發見シタル時ハ必ズ翌日迄ニ本市場ニ申出

第十九條 ズベシ

第二十條 本市場ノ職員及ビ指定ノ仲買人ハ所定ノ徽章ヲ其ノ左襟ニ付スベシ

第二十一條 出荷者及仲買人其他代理人等ニシテ左記ノ行爲アリタル場合ハ入場ヲ停止シ又ハ仲買人

タルコトヲ取消スコトアルベシ

一、本規定ニ違反シタルトキ

二、營業ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキ

三、市場ノ秩序ヲ紊スノ行爲アリタルトキ

四、其他農會長ニ於テ必要ト認メタルトキ

附 則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四 萩市農會々務及會計監査規程

- 第一條 評議員ハ毎月一同會務及會計ノ監査ヲ行フモノトス
第二條 會務及會計監査ヲ行フトキハ會長ハ其期日二日前迄ニ評議員ニ通知スルモノトス
但シ急施ヲ要スル場合ニ於テハ此ノ限ニ非ズ
第三條 本監査ノ爲ニ出席シタル評議員ノ費用ノ辨償ハ之ヲナサザルモノトス

附 則

本規定ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五 萩市農會青物市場委員設置規程

- 第一條 本市場ニ委員五名ヲ常設ス
第二條 委員ハ會長ノ諮問ニ應ジ市場ノ發展ニ付キ審議スルモノトス
第三條 委員ハ總代中ヨリ選舉ス

- 第四條 委員ノ任期ハ總代ノ任期ニ同ジ
第五條 委員ニ缺員ヲ生ジタルトキハ之ヲ補缺ス
但シ補缺ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
第六條 委員ハ當分ノ内費用ノ辨償ハ之ヲナサザルモノトス

附 則

本規定ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六 萩市農會總代會々議規則

第一章 總 則

- 第一條 會議ハ午前十時ニ開キ午後四時ニ閉ツルヲ常例トス
但シ議長ノ意見若クハ會議ノ議決ニ依リ之ヲ伸縮スルコトヲ得
會議ノ終始ハ振鈴ヲ以テ之ヲ報ズ
第二條 總代ノ席次ハ改選每ニ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 總代出席シタルトキハ出席簿ニ捺印スベシ

總代疾病其ノ他ノ事故ニヨリ出席スルコト能ハザルトキハ開議前其ノ事由ヲ具シ議長ニ届出ツベシ

第四條 議長ハ議事日程ヲ定メ開議前ニ於テ之ヲ報告シ次ニ議事錄署名者貳名ヲ指名スベシ
第五條 議事中緊急事件ニ關シ總代ノ動議アルトキ又ハ議長自ラ緊急事件ト認ムルモノアルトキハ議長ハ討論ヲ用ヒズ會議ニ詰リ日程ヲ變更スルコトヲ得

第六條 議事日程ニ指定シタル事件ノ會議ヲ開ク能ハサルトキ又ハ會議終局ニ至ラザルトキハ議長ニ於テ更ニ其ノ日程ヲ定ムベシ

第二章 議 事

第七條 議事ヲ開クトキハ議長ハ其旨ヲ宣シ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシム 但シ議長ハ時宜ニ依り朗讀ヲ省略スルコトヲ得

第八條 議事ノ順序ハ議長之ヲ定ム 但シ總代ヨリ變更追加ノ請求アリタルトキハ議長ハ討論ヲ用ヒズ會議ニ詰ヒ之ヲ決ス

第九條 議事ハ三讀會ヲ經テ之ヲ確定ス 但シ議長又ハ會議ノ意見ニ依リ讀會ヲ省略スルコトヲ得

第十條 第一讀會ニ於テハ議案ノ大体ニ付キ質議シ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ決ス

第十一條 第二讀會ニ於テハ逐條審議ヲ爲ス

第十二條 第二讀會ニ於テハ議案ニ對スル修正動議ヲ提出スルコトヲ得

第十三條 議長ハ逐條審議ノ順序ヲ變更シ又ハ數條併合シ若ハ分割シテ討議ニ附スルコトヲ得 但シ參名以上ノ動議アルトキハ議長ハ討論ヲ用ヒズ會議ニ詰ヒ之ヲ決ス

第十四條 第三讀會ハ第二讀會ノ議決ヲ以テ原案トシ議案ノ全体ニ付可否ヲ決ス

第十五條 第一讀會第二讀會ニ於テ賛成ナキ動議及第三讀會ニ於テ參名以上ノ賛成ナキ動議ハ議題ト爲サズ

第十六條 建議案ハ參名以上ノ賛成者ヲ得テ之ヲ提出スベシ

第十七條 發言セムトスル者ハ起立シテ議長ヲ呼ビ自己ノ姓又ハ番號ヲ唱ヘ議長ノ應呼ヲ得テ發言スベシ

貳名以上起立シテ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ先キニ起立セリト認ムル者ヲ指シテ發言セシムベシ

第十八條 一議題未ダ終ラザル前ニ於テ他ノ議案ニ付發言スルコトヲ得ズ 但シ議事ノ手續採擇ノ方法議事ノ中止會議ノ休憩討論ノ終決等先決ノ動議ニ付キテハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 議長ハ討論終決ヲ宣告スルコトヲ得

總代ニ於テ討論終決ノ動議ヲ提出シ參名以上ノ賛成アルトキハ議長ハ討論ヲ用ヒ

議長ハ討論終決ヲ宣告スルコトヲ得

第二十條 會議中議長ノ處置ニ關シ參名以上ノ賛成ヲ得タル異議ノ申立アルトキハ議長ハ討論ヲ用ヒ

ズ會議ニ誣ヒ之ヲ決ス

第二十一條 會議規則ノ疑議ニ付テハ議長之ヲ決ス

但シ議長ハ討論ヲ用ヒス會議ニ誣ヒ之ヲ決スルコトヲ得

第四章 採決

第二十二條 議長採決セムトスルトキハ其ノ議題ヲ會議ニ宣告スペシ

第二十三條 表決ノ方法ハ起立ヲ以テ例トス 但シ時宜ニ依リ他ノ方法ヲ用フルコトヲ得

第二十四條 表決ノ數ハ書記之ヲ點檢シ議長ハ其ノ結果ヲ會議ニ宣告スペシ

第二十五條 總代ハ表決ノ數ニ加ハラサルコトヲ得ズ

總代ハ自己表決ノ更正ヲ求ムコトヲ得ズ

採決ノ際議席ニ列セサル總代ハ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第二十六條 議題ニ付發言者ナキトキハ議長ハ全會一致ヲ以テ可決シタルモノト認メ其ノ旨ヲ宣告スルコトヲ得

第二十七條 修正ノ動議ハ原案ニ先ダチテ採決ス

同一議題ニ付數個ノ修正動議アルトキハ原案ニ最モ遠キモノヨリ先ニシテ之ニ依リ難キ場合ハ動議提出ノ順序ニ從フ 前項ノ場合ニ於テハ議長ハ先ツ其ノ順序ヲ定メ之ヲ會議ニ宣

告スベシ

第二十八條 修正案總テ否決セラレタルトキハ原案ニ付採決スベシ

第二十九條 本會ニ於テ爲ス選舉ハ議長ノ定ムル方法ニ依リ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

但シ會議ノ議決ニ依リ記名投票ヲ爲スコトヲ得

投票數出席總代ノ員數ニ同ジカラザルトキハ直ニ再投票ヲ行フ

第五章 委員

三十條 委員ハ議案ノ審査修正又ハ文案起草ヲ附託スル爲議長ノ意見又ハ總代貳名以上ノ請求ニ依リ會議ニ於テ之ヲ可決シタルトキ設置スルモノトス

第三十一條 委員ノ數ハ寄數トシ議長ノ指名又ハ選舉ニ依リ之ヲ定ム

第三十二條 議長ハ委員會ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第三十六條 但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第六章 議場ノ秩序

第三十三條 議場ノ整理ハ議長之ニ當ル

第三十四條 總代ハ會議中議長ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ漫ニ議席ヲ離ルルコトヲ得ス

第三十五條 開議中出席シタル總代ハ議長ニ申告シテ着席スペシ

第三十六條 總代ハ開議中漫リニ贊否ノ聲ヲ發シ私話喧騒ニ涉リ會議ノ妨害ヲ爲ス等ノ舉動アルベカ

ラズ 第七章 附則

第三十七條 本則ヲ改正セントスルトキハ出席總代三分ノ二以上ノ賛成者アルコトヲ要ス

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七 萩市農會總代會傍聽人取締規則

第一條 傍聽人ハ傍聽席ノ都合ニ依リ議長其ノ員數ヲ定ム

第二條 傍聽人ハ名刺ヲ受付ニ差出シ傍聽券ヲ受ク退出ノ際之ヲ受付ニ返還スペシ

第三條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ傍聽ヲ許サズ

一、戒器ヲ携帶スル者

二、瘋癲白痴未成年者反酩酊者

三、異様ノ紛裝ヲ爲シタル者

第四條 傍聽人ハ何等ノ事由アルトモ議場内ニ入ルコトヲ許サズ

第五條 傍聴人ハ傍聴席ニ於テ左ノ事項ヲ遵守スペシ

一、帽子又ハ外套ノ類ヲ着スペカラズ

二、傘杖ノ類ヲ携帶スペカラズ

三、飲食又ハ喫煙ヲナスベカラズ

四、總代ノ言論ニ對シ批評ヲ加ヘ又ハ可否ヲ表スペカラズ

五、議事ノ妨害トナル行爲ヲ爲スペカラズ

第六條 前條ニ違背シタル者アルトキハ議長ハ其ノ者ニ對シ退場ヲ命シ必要アルトキハ傍聴人ノ全

部又ハ一部ニ對シ退場ヲ命スルコトヲ得

附 則

本規則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八 萩市農會處務規程

第一 章 總 則

第一條 本會ニ庶務事業會計ノ三係ヲ設ク 各係ニ主任ヲ置キ事務ノ分掌ヲ定ムルコト左ノ如シ

庶務係

- 一、文書ノ往復並ニ整理ニ關スル事項
- 一、印章ノ保管ニ關スル事項
- 一、會議ニ關スル事項
- 一、經費豫算ニ關スル事項
- 一、役員職員ノ進退服務及身分ニ關スル事項
- 一、退職給與金ニ關スル事項
- 一、給仕小使其他傭人ニ關スル事項
- 一、事務所ノ取締ニ關スル事項

二、宿直ニ關スル事項
一、他ノ係ハ主管ニ屬セザル事項

一、農會通報ニ關スル事項
一、其他農政及農業技術ニ關スル事項

會計係

一、經費入収入支出並ニ決算ニ關スル事項

一、物品ノ購入賣却ニ關スル事項

一、物品ノ出納及保管ニ關スル事項

一、基本財產ノ管理及處分ニ關スル事項

一、土地建物ノ管理及營繕ニ關スル事項

一、其他會計ニ關スル事項

第二條 本會ノ事務ハ會則及總算ノ定ムル所ニ依リ會長ノ指揮命令ニ從ヒ之ヲ執行スベシ
第三條 會長並ニ副會長不在ノ時緊急處理ヲ要スル事項ハ幹事其ノ事務ヲ代決ス
幹事ノ代決シタル事項ハ會長並ニ副會長ノ追認ヲ受クベシ

第四條 幹事ハ左ノ事項ヲ決行スルコトヲ得
一、正規定例アルモノ又ハ輕易ナル事件ニ關スル文書ノ往復

一、技手書記其ノ他事務員ノ市内出張

一、其ノ他會長ヨリ委任ヲ受ケタル事項

第五條 本會ノ事業執行ニ關シテ其ノ費額ヲ豫定シタル計畫書ニ依リ會計係ニ合議ノ上會長ノ決裁

自ラ處理スルモノヲ除クノ外幹事ヲ經テ各主任ニ交付スルモノトス
但シ親展文書ハ封緘鑑宛名ニ配付スペシ

第二章 文書の取扱

第七條 文書中金錢有價證券其ノ他重要物件ノ添附アルモノハ配付前其ノ物件ヲ會計係ニ交付シ文書ノ餘白ニ現品領置ノ證印ヲ受クベシ

第八條 主任者文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ處理スベシ

文書ハ左ノ例ニ依リ處理スベシ

一、往復其ノ他發送文書ハ其ノ主任ニ於テ起案シ關係職員合議ノ上幹事ヲ經テ會長ノ決裁

ヲ受ケ施行スベシ

一、正規定例アルモノ又ハ輕易ナル事件ハ其ノ文書ノ餘白ニ處理案ヲ朱記シ起案ニ代フコトヲ得

一、處理ヲ要セサル文書ハ職員ノ回覧ニ附シ會長ノ閱覽ニ供スベシ

第九條 回議ハ當初ヨリ完結ニ至ル迄其ノ日附順序ニ從ヒ下ヨリ上ニ向ヒ關係文書ヲ添附シ其ノ顛末ヲ明カニスベシ

第十條 發送スペキ文書ハ一定ノ用紙ニ淨書校合ノ上職印又ハ農會印ヲ押捺シ文書發送簿ニ登錄ノ上之ヲ發送スベシ

發送文書ノ日附ハ發送ノ日ヲ用フベシ

第十一條 郵便電信ノ外直接ニ發送スル文書ハ重要ナルモノニ限り遞付簿ヲ添ヘ領印ヲ徵スベシ

第十二條 調査又ハ照會中ニ屬スル文書ハ一定ノ場所ニ存置シ常ニ其ノ所在ヲ明瞭ニスベシ

第十三條 完結文書ハ事件ノ種類別ニ從ヒ分類編綴シ索引目次ヲ附スベシ

第十四條 収受シタル雜誌其ノ他刊行書ノ類ハ文書ノ例ニ依リ之ヲ整理編綴スベシ

第十五條 文書ノ保存方法ハ左ノ二種ニ區分ス

永久ニ保存スルモノ

一、法律命令例規官廳ノ訓示指令書ノ類

一、會則及規程類

一、沿革ニ關スル書類

一、會議ノ議決及豫算決算並ニ收入支出ニ關スル證憑書類

一、役員職員ノ進退ニ關スル書類

完結シタル年次ノ翌年ヨリ十ヶ年間保存スルモノ

一、事業ニ關スル書類

一、調査統計報告材料ニ關スル書類

一、普通ノ往復文書及願届書類

第十六條 保存期間ヲ経過シタル文書ハ會長ノ決裁ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第十七條 法例其ノ他例規類ノ改廢ヲナシタルトキハ其ノ都度加除更訂シ常ニ現行ヲ明確ニスベシ

第十八條 農會通報ノ原稿ハ幹事ニ於テ調査シタル後印刷ニ付スルモノトス 但シ重要ナル事項ハ會長ノ閱覽ヲ經ルコトヲ要ベ

第三章 服務

第十九條 本會ノ執務時間及休暇ハ官廳ノ例ニ依ル 但シ事務ノ都合ニヨリ定時間以外又ハ休日祭日ニ拘ハラス執務セシムルコトアルベシ

第二十條 職員出勤シタルトキハ掛机ヲ整理シ出勤簿ニ捺印ノ上職務ニ服スベシ

外勤又ハ出張退廳ノ場合ハ前項ノ掛机ヲ再び整理スベシ

第二十一條 文書及記録ハ會長ノ承認ヲ經ルニ非サレバ事務所以外ニ持出シ又ハ他人ニ開示シ若ハ謄寫ヲ與フルコトヲ得ズ

第二十二條 疾病忌又ハ賜暇ノ爲缺勤セムトスルトキハ當日正午迄ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ 但シ忌引ノ場合ハ其ノ死者トノ續柄ヲ届書ニ記載スベシ

疾病ノ爲缺勤七日以上ニ及ブトキハ醫者ノ診斷書ヲ添ヘテ届出デ爾後七日毎ニ同様ノ手續ヲ受クベシ

但シ豫メ日數ヲ定メ療養ノ許可ヲ得タルトキハ此限ニアラズ

第二十三條 疾病其ノ他己ムヲ得ザル事故ニヨリ旅行セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ日數ヲ豫定シテ許可ヲ受クベシ

第二十四條 前二條ノ場合ニ於テ處理未済ノ事務アルトキハ上司ノ指命シタル者ニ之ヲ引繼キ事務ノ滞滯等無カラシムベシ

第二十五條 職員出張ヲ命ぜラレタル場合豫定ノ期日ニ於テ出發若ハ歸廳スルコト能ハサルトキハ其ノ期日前會長ノ承認ヲ受クベシ

第二十六條 出張ノ用務ヲ終ヘ歸廳シタルトキ市外出張ノ場合ニ在ツテハ重要ナル事項ハ文書ヲ以テ其ノ他ノ場合ハ口頭ヲ以テ直ニ會長ニ復命スペシ

第二十七條 本會ニ日誌ヲ備付ケ毎日執務ノ概況其ノ他重要事項ヲ書留メ置クベシ

第二十八條 職員退廳セムトスルトキハ文書簿冊印章箱等一定ノ場所ニ收藏シ散逸ノ虞無カラシムベシ

第二十九條 退廳後事務所附近ニ水火其ノ他變災アリタルトキハ速ニ出所シ緊急ノ任務ニ服スペシ

第四章 宿 直

第三十條 執務時間外及休日ニハ職員一名ヲシテ宿直ヲナサシム

宿直ハ順番ヲ以テ定メ市外出張又ハ缺勤ノ場合ハ順次繰替ヲ爲スモノトス

第三十一條 宿直順番ニ當リ病氣其他已ムヲ場ザル事故ニ依リ宿直勤務ヲ爲スコト能ハサル者アルトキハ庶務係ニ就キ繰替ヲ要求スベシ 此ノ場合ニ於テ庶務係ハ正當ノ事由アリト認メタルトキニ限り順番ヲ繰上クベシ

第三十二條 宿直勤務中ハ事務所ノ取締ニ任ジ非常事變アルトキハ會長其ノ他ノ職員ニ急報シ臨機ノ處置ヲ爲スベシ

第三十三條 宿直勤務中到着シタル文書ハ親展ノモノヲ除ク外之ヲ査閱シ急ヲ要スルモノハ直ニ處理ノ手續ヲ爲シ其ノ他ハ封皮ヲ添付シ翌日係員ニ交付スベシ 但シ當日ガ休日ニ當ルトキハ次番ノ宿直職員ニ引継グベシ

第三十四條 宿直職員ハ其ノ勤務中取扱ヒタル重要事項ヲ日誌ニ記載シ會長ノ閲覽ヲ受クルコトヲ要

第三十五條 宿直職員ハ左ノ簿冊及物件ヲ保管スペシ
一、日 誌
二、郵便切手受拂簿
三、郵便切手
四、印章及鎖鑰
五、宿直中到達シタル文書及金券物件

六、提灯蠟燭マツチ

第七章 附則

本規定ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第九 萩市農會々計規則

第一章 總則

第一條 本會ニ於テ取扱フ出納其ノ他ノ會計事務ハ別ニ規定アルモノ、外總テ本則ニヨルモノトス
第二條 每年度所屬收入支出ノ出納閉鎖期日ハ翌年度五月參拾壹日トス
第三條 經費收入支出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニヨル

收入

- 一、補助金ハ其ノ豫定シタル年度
- 二、經費分賦金は其ノ分賦スペキ事實ノ屬スル年度
- 三、保管料手數料ノ類ハ其ノ納入スペキ事實ノ屬スル年度

四、前各號ノ類別ニ屬セザルモノハ總テ納入ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

支 出

- 一、報酬給料旅費退職給與金其ノ他ノ諸給與傭人料ノ類ハ其ノ支給スペキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度
 - 二、物件ノ購入其他契約ニ依ルモノハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度 但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ期日ノ屬スル年度
 - 三、缺損補填ハ其ノ補填ノ決定ヲナシタル日ノ屬スル年度
 - 四、前各號外ハ總テ支拂ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
- 第四條 豊備費ノ支出又ハ豫算項目ノ流用ヲ要スルトキハ其ノ金額及理由ヲ具シタル計算書ヲ作リ會長ノ承認ヲ受クベシ
- 第五條 収入ノ過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各收入シタル科目ヨリ支拂フモノトス 支出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額現金前渡前金拂概算拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル經費ノ定期ニ戻入スルモノトス

第六條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ雜収入又ハ雜支出トシ收支スルモノトス

第七條 収支命令書請求書領收書契約書證明書其ノ他收支ノ證憑トナルベキ書類中金額數量ヲ表示スル數字ハ計表類ヲ除ク外壹貳參拾ノ文字ヲ用フルコトヲ要ス

第八條 収入支出ニ關スル證憑書類ハ記帳ノ順序ニ依リ科目毎ニ分綴シ表紙ヲ附スルモノトス

第九條 現金證券ハ會長ノ名ヲ以テ郵便官署又ハ總代會ノ議決ヲ經タル銀行ニ預託シ預金通帳證券預り證預金證書ハ幹事ニ於テ之ヲ保管スベシ

但シ其ノ總額ハ拾圓未満ノ場合ハ主務職員ニ於テ保管スルコトヲ得

第二章 出 納

第十條 役員及職員ノ出張旅費ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

前項ノ概算ヲ受ケタル者ハ歸應後七日以内ニ精算スベシ

第十一條 經費支拂上必要アル場合ハ其ノ費額ヲ豫定シタ現金前渡ヲナスコトヲ得

前項ノ前渡ヲ受ケタル者ハ事件完了ノ日ヨリ拾日以内ニ證憑書類ト共ニ精算書ヲ差出スベシ

第十二條 經費ノ支拂ハ債權者若ハ其ノ代理人ニ非ラザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ 但シ現金前渡ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 左ノ經費ハ前金拂ヲナスコトヲ得

一、豫約出版ニ關スル圖書其ノ他前金ニ非ザレバ買入ヲ爲シ能ハザル物件ノ代價及之ニ伴フ運搬費

二、特ニ會長ノ認許アルモノ

第十四條 經費ノ收支ハ總テ左ノ方法ニ依ルベシ

一、收入ハ收入調書ニ依リ會長ノ收入命令ヲ添付シ金庫ニ納入スベシ

二、支出ハ支出調書ニ依リ會長ノ支出命令ヲ添付シ金庫ヲシテ支拂セシムベシ

振替貯金ノ拂出證明書ヲ以テ支拂ノ證憑書ト爲スコトヲ得

前項ノ外已ムヲ得ザル場合ニ於テハ事實ノ證憑トナルベキ書類ヲ添付シタル吏員ノ證明書ヲ以テ領收書ニ代ヘシムルコトヲ得

第十五條 債權者ヨリ徵收スペキ請求書領收證ニハ左ノ事項ヲ詳記スベシ

第十五章 会員の待遇

一、旅費ハ出張地名旅行巡回ノ年月日路程等費金算出ノ根基

二、物件ノ購買ニ關スルモノハ一種類毎ニ品目數量單價納入年月日

三、前各號ノ外ハ各其ノ原因及年月日算出ノ根基

第十六條 代理人ニ對シ支拂ヲ爲ス場合ハ委任狀又ハ委任届ヲ添付セシムルヲ要ス

第十七條 主務職員ハ豫算差引簿ヲ整理シ翌月五日迄ニ會長ノ閲覧ニ供スベシ

第三章 諸 納 与

第十八條 會長副會長及幹事ノ年手當ハ拾貳月中技手書記其ノ他ノ俸給ハ毎月貳拾壹日之ヲ支給ス

但シ休日ニ當ルトキハ繰上ゲトス

第十九條 役員及職員ノ月手當ハ新任ノ場合ニ在リテハ其ノ當日ヨリ日割計算ヲ以テ之ヲ支給ス

職員ノ俸給ハ發令ノ翌日ヨリ日割計算ヲ以テ支給ス

第二十條 解職退職及死亡ノトキノ報酬ハ當月迄ノ月割額ヲ俸給ハ當月分ノ全額ヲ支給ス

第二十一條 解職退職者事務引繼ノ爲殘務整理ヲ命セラレタルトキハ在職中支給シタル報酬又ハ俸給

額ニ依リ日割計算ヲ以テ之ヲ支給ス

第二十二條 病氣ノ爲メ執務セザルコト九十日ヲ踰スル者又ハ私事ノ故障ニ因リ執務ゼザルコト參拵
日ヲ踰スル者ハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ職務ノ爲メ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ若ハ賜暇休養
ヲ爲ス者ハ此ノ限りニ在ラズ

第二十三條 日給ハ現勤日數ニ應シ毎月末日之ヲ支給ス

但シ休日ニ當ルトキハ繰上ケトス

勤務中ノ休日及第二十二條但書該當ノ缺勤日數ハ之ヲ現勤日數ニ算入ス

日給ノ增減ハ發令ノ當日ヨリ之レヲ計算ス

第二十四條 日割計算ノ法ハ其ノ月日ノ現日數ニ依ル計算上錢位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ切捨ツル
モノトス

第二十五條 評議員及總代ニハ出務日數ニ應ジ左ノ手當ヲ支給ス

評議員會并ニ總代會招集ノ場合ハ一回ニ付金壹圓五拾錢 木間ヨリ來往スル者ニ限リ一回
ニ付金參圓トス 但シ評議員會及總代會ヲ同一日ニ招集シタル場合ノ手當ハ主ナル一方ノ
ミヲ支給ス

第四章 帳簿

第二十六條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一、現金出納簿

二、諸收入徵收簿

三、分賦金徵收簿

四、經費收入豫算差引簿

五、經費支出豫算差引簿

六、綠替拂整理簿

七、一時取扱金整理簿

八、郵便切手受拂簿

九、財產臺帳

十、備品臺帳

前項ノ外適宜必要ナル帳簿ヲ備付ケ常ニ出納ヲ明確ナラシムベシ

第五章 物件ノ賣買及請負

第二十七條 財產ノ賣却貸與工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競爭入札ニ付スベシ 但シ左ノ各

號ノ一ニ該當スル場合ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一、價格百圓ヲ超ヘサルトキ

二、證券株券ノ賣買

三、土地家屋ノ買入又ハ借入

四、評議員會ノ同意ヲ得タル特殊物件ノ賣買貸借

第二十八條 物品ヲ購入シタルトキハ其ノ品目數量ヲ備品臺帳ニ登記シ各品目毎ニ番號ヲ付スベシ

第二十九條 備品中不用ニ歸シ又ハ毀損ニ因リ修繕シ難キモノアルトキハ事由ヲ具シ會長ノ決裁ヲ經

テ之ヲ處分スルコトヲ得

第六章 雜則

第三十條 本規則ニ定メタルモノノ外必要ナル事項並ニ出納ニ關スル諸帳簿其ノ他ノ様式ハ會長之ヲ定ム

第三十一條 主務職員ハ其ノ保管スル現金證券其ノ他物品ノ亡失毀損ニ付賠償ノ責ニ任ズ 但シ自己ノ過失ニ依ラザル水火盜難其ノ他不可抗力ニ原因スル時ハ此ノ限ニ非ス

第三十二條 主務職員前條ノ現金證券其ノ他ノ物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ會長ハ期間ヲ定メ其ノ賠償ヲ命ズベシ

第三十三條 主務職員ハ一ヶ月毎ニ經費並ニ取扱金ニ關スル出納計算書ヲ作り翌月五日迄ニ關係職員ノ合議ヲ經テ會長ノ閱覽ニ供スペシ

附 則

本則ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十 萩市農會評議員會規程

第一條 評議員會ハ會長副會長之ヲ招集ス但シ緊急ヲ要スル場合ノ外開會前參日迄ニ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第二條 評議員會ノ議長ハ會長ヲ以テ之ニ充ツ會長事故アル時ハ副會長之ヲ代理ス

- 第三條 本會々則第二十條ニ定ムモノノ外左ノ事項ハ之ヲ評議員ノ諮問ニ附ス
 - 一、行政廳ノ諮問ニ對スル答申又ハ建議ニ關スル事項
 - 二、本會諸規程ノ制定并改廢ニ關スル事項
 - 三、寄附物件ノ處分ニ關スル事項
 - 四、其ノ他會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第四條 總代會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ臨時急施ナ要シ之ヲ招集スル暇ナキ場合ニ限り評議員會ニ於テ之ヲ代決スルコトヲ得此ノ場合ハ其ノ顛末ヲ次回ノ總代會ニ報告スルコトヲ要ス

第五條 會長ハ議員ヲシテ評議員會ニ列席セシメ諮問案ニ付説明セシムルコトヲ得

第六條 評議員會ニ於ケル議事ノ顛末ハ之ヲ議事錄ニ登載シ議長及出席シタル評議員之ヲ署名捺印スルモノトス

第七條 評議員會ニ關シテハ本規程ニ定ムモノノ外總代會々議規則ノ規定ヲ準用ス

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

知事對外農會

第十一 萩市農會基本財產造成管理及處分規程

- 第一條 本會ハ會則第六十三條ニ依ル寄附金並ニ總代會ノ議決ニ依リ基本財產ヲ造成ス
第二條 基本財產ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ又ハ評議員會ノ議決ヲ經テ不動産又ハ確實ナル有價證券ヲ購入シ會長之ヲ管理ス
第三條 基本財產ヨリ生ズル收入ハ毎年度豫算ニ計上シ基本財產トシテ之ヲ蓄積ス
第四條 基本財產ハ總代會ノ議決ヲ經テ之ヲ處分スルコトヲ得
附 則
本規程ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二 萩市農會表彰規程

- 第一條 本會ハ左ノ各號ニ該當スル農事功勞者ニ對シ表彰ヲ行フ
一、勤儉勸農ノ途ヲ講シ又ハ專ラ農業ニ精勵シ衆庶ノ模範トナルベキ者
一、本會ニ對シ功勞顯著ナル者

- 一、農事上有益ナル發明ヲナシ其ノ成績顯著ナル者
一、農事ニ關スル團體ノ事業ニシテ其ノ成績顯著ナル者
一、青物市ニ關シ功勞顯著ナル者
第二條 被表彰者ハ評議員會ニ諮問シ之ヲ定ム
第三條 表彰ハ豫算ノ範圍内ニ於テ左記表彰狀ニ金員又ハ物品ヲ添ヘ之ヲ行フ

表 彰 狀

萩市字何々

氏名

夙ニ(何々云々ノ功績)顯著ナルヲ認メ萩市農會表彰規程ニ依リ(何々)ヲ贈與シ

其ノ功勞ヲ表彰ス

年 月 日

萩市農會長

附 則

本規程ハ昭和四年二月二十八日ヨリ之ヲ施行ス

第十三 萩市農會職員退職給與金支給規程

第一條 本會職員退職シタルトキハ本則ニ依リ退職給與金ヲ支給ス 但シ左記ノ各號ノ一一該當スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一、自己ノ便宜ニ依リ退職シタルトキ

二、本會ノ名譽ヲ毀損スル行爲アリタル爲退職ヲ命セラレタルトキ

三、犯罪行爲アリタル爲退職ヲ命セラレタルトキ

四、帝國農會職員退職死亡給與金規程ニ依リ認許セラレタルトキ

第二條 本則ノ職員ト稱スルハ本會ノ會則ニ依リ規程セラレタル職員及青物市場專屬ノ有給職員ヲ

謂フ

第三條 退職給與金額ハ退職當時ノ俸給ト在職年數トニ依リ左ノ通之ヲ定ム

一、在職滿壹ヶ年以上貳ヶ年未滿ノ者 月俸額ノ三分ノ一

二、全 滿貳ヶ年以上參ヶ年未滿ノ者 月俸額ト同額

三、全 參ヶ年以上四ヶ年未滿ノ者 全ノ倍半

四、全 四ヶ年以上五ヶ年未滿ノ者	全 ノ二倍
五、全 五ヶ年以上六ヶ年未滿ノ者	全 ノ二倍半
六、全 六ヶ年以上七ヶ年未滿ノ者	全 ノ三倍
七、全 七ヶ年以上八ヶ年未滿ノ者	全 ノ四倍
八、全 八ヶ年以上九ヶ年未滿ノ者	全 ノ五倍
九、全 九ヶ年以上拾ヶ年未滿ノ者	全 ノ六倍
三、全 拾ヶ年以上ノ者	全 ノ七倍

二、在職滿十ヶ年以上ハ在職年數滿壹ヶ年ヲ増ス毎ニ月俸ノ壹ヶ月分ヲ增額シ滿十八ヶ年ニ至リテ止ム

退職給與金額ノ算定ニ當リ圓位未滿ノ端數ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第四條 職員ノ在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

第五條 退職給與金ノ支給ヲ受クベキ者在職中死亡シタルトキハ其ノ退職給與金ヲ遺族ニ支給ス

前項ノ遺族及其ノ順序ハ恩給法ノ例ニ依ル

第六條 退職給與金ノ支給ヲ受クル職員ハ其ノ月俸額ノ百分ノ一ヲ俸給受領ノ際本會ニ納付スルモノトス 本規程ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本規程施行前ヨリ引續キ在職スル者ノ在職年數ハ現在月俸額百分ノ十二相當スル金額ヲ壹ヶ年分トシ其ノ在職年數ニ乘シタル金額ヲ昭和五年三月三十一日迄ニ一回又ハ數回ニ分納シ完納ニ至リタルトキハ其就職ノ月ヨリ起算シ在職年數ヲ通算ス

第十四 萩市農會職員以下賄料支給規程

第一條 本會職員以下夜業又ハ宿直ヲ爲シタルトキハ左ノ賄料ヲ支給ス

一、幹事 技手 書記 一度分 金貳拾錢

二、雇 小使 一度分 金拾五錢

第二條 職員及雇員ノ夜業ハ午後十時ヲ過クルトキハ賄料一度分以上ヲ適宜支給スルコトヲ得

附 則

本規程ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十五 萩市農會共同購入共同販賣規程

第一條 本會ハ會員ノ利便ヲ計ル爲農業生産品ノ共同販賣及農家ノ必需品ノ共同購入ノ幹旋ヲ爲ス

第二條 共同販賣及共同購入ニ關スル種類品目其ノ他必要ナル事項ハ其ノ都度地方委員ニ通知シ同時ニ本會揭示場ニ之ヲ公告ス

第三條 共同販賣及共同購入ニ關シテハ申込者ヨリ所定ノ手數料ノ外運賃荷造費其ノ他ノ實費ヲ徵收ス 但シ必要ト認メタル場合ハ手數料ヲ免除シ又ハ運賃其他ノ費用ノ全部若シクハ一部ヲ免除スルコトアルベシ

第四條 本規程ニ依リ共同販賣及共同購入ノ申込ヲ爲シタル者ハ中途ニシテ其ノ種類品目ヲ變更シ又ハ申込ヲ取消スコトヲ得ズ

第五條 物品購求者ハ其ノ代價ノ支拂ヲ怠リ又ハ販賣者ハ其ノ販賣方法ニ付異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ノ場合損害アリタルトキハ各其ノ申込者ノ負担トス

第六條 共同販賣共同購入ニ關スル事務取扱上ノ細則ハ會長ニ於テ適宜之ヲ定ム

第七條 本規程ニ依ル現金出納ハ毎月末日之ヲ整理シ翌月五日迄ニ幹事ヲ經テ會長ノ閲覽ニ供スベシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年三月八日

第十六 基本財産管理ニ關スル件

本會ノ基本財産現金ハ株式會社長周銀行萩支店ニ定期預金ヲ爲スモノトス

昭和四年三月八日

第十七 農會金庫事務取扱銀行變更ノ件

本會金庫事務取扱銀行タリシ萩銀行ハ昨年十月株式會社百十銀行ト合併ノ結果金庫事務ノ取扱ヒヲ爲

第十八 萩市農會青物市場積立金規程

第一條 本會青物市場積立金ハ本規程ニ依リ蓄積管理及處分ヲ爲スモノトス

第二條 本積立金ノ收支精算ノ要項ハ毎年度通常總代會ノ際之ヲ報告スルモノトス

第三條 本積立金ハ毎年度豫算ニ計上シタルモノ、外青物市場經費決算剩餘金ノ全部又ハ其ノ一部若ハ指定ノ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 本積立金ハ別途會計ヲ以テ整理シ現金ハ定期預金ト爲シ又ハ青物市場融通金トシテ之ヲ使用スルコトヲ得

第五條 本積立金ハ非常災害ノ爲支出スルノ外總代會ノ議決ヲ經ルニアラザレバ之ヲ消費スルコトヲ得ズ

附 則

本規程ハ昭和五年度ヨリ之ヲ施行ス
昭和五年三月二十三日議決ヘ付テ此規程並其附則ヲ昭和五年三月二十日より施行ス

第十八 某市農會青物市販賣立金財務

附 錄

昭和五年八月一日現在役職員左ノ如シ

會長 欠

副會長 (兼青物市場主事) 福田一貞

專任技手

兼任幹事

嘱託技手

全

溝部勝利

大谷楨太

成澤廣

久松

全

溝部勝利

大谷楨太

青物市場

書記

全

溝部勝利

大谷楨太

書記

全

溝部勝利

大谷楨太

山崎宣三

伊藤吉之進

全

溝部勝利

大谷楨太

伊藤重

全

溝部勝利

大谷楨太

原田宜三

伊藤吉之進

全

溝部勝利

【非賣品】

昭和五年九月十五日印刷

昭和五年九月二十日發行

昭和九年四月一日再版

山口縣萩市大字東田町一三番地

電話(萩)二九二番

發行所

山 口 縣 萩 市 農 會

萩市大字椿東三〇三八

編輯人兼

福 田 一 賴

全

印 刷 フ
以 テ 謄
寫 二 代 フ

印 刷 人

渡 邊 印 刷 所

全

吉 文

山口縣熊毛郡光井村一六九六番地

吉 文

印 刷 人

渡 邊 印 刷 所

吉 文

開元八年一月更番錄卷之、印刷所

吉 文

79P

19 cm

TRC102093



萩市立図書館



111354981



館内